

令和7年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名					授業の種類	授業担当者				
発達心理学					講義	高橋ユウエン				
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修					
1	2	30	15	後期	幼免: 必修	保育士: 必修				
〔授業の目的・ねらい〕 幼児期から青年期に至る、子どもの発達及び学習過程について、基礎的な知識を身に着け、各発達段階における心理的特性をふまえた活動を支える指導となる考え方を理解する。										
〔授業全体の内容と概要〕 人間の心身発達や学習に関する理論について、種々のトピック示しながら講義を行う。学生に、様々な視点から発達をとらえ、多様な考え方ができる力を身に着けさせるために、新しい科学的知見も積極的に取り上げる。										
〔受講上の注意事項〕 予習と復習すること。課題を定期的に提出すること。										
〔使用テキスト〕 完全カラー図鑑 よくわかる発達心理学 渡辺弥生(監修) ナツメ社			〔評価基準〕 定期試験 30%、小テスト 50%、課題 20%							
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕										
回	項目	授業内容								
1	ガイダンス	シラバスの説明、発達心理学の観点の紹介								
2	胎児期の発達	受精～誕生、胎児期の発達過程								
3	知覚と運動の発達	視覚・聴覚など知覚の発達と運動機能の発達過程								
4	社会性の発達①	愛着形成・信頼関係の形成								
5	社会性の発達②	遊び・友人関係の形成								
6	社会性の発達③	青年期の対人関係								
7	道徳観の発達	道徳感情および意識の発達過程								
8	認知発達理論①	ピアジェの認知発達理論								
9	認知発達理論②	こころの理論								
10	認知発達理論③	メタ認知の発達と重要性								
11	動機づけ理論	動機づけと原因帰属理論								
12	自己発達①	幼児期の自己認識								
13	自己発達②	青年期の自己認知・アイデンティティ								
14	発達のつまずき	発達障害の定義・検査								
15	まとめ + 定期試験	まとめと期末試験の実施								
実務教員としての経歴		約20年間信州大学で非常勤講師として心理学を教えた								
実務経験と授業の関連		長野県立稻荷山養護学校で中国語通訳者として勤めた								